

2021年1月15日

保護者のみなさま

3学期が始まって (2021)

清心幼稚園

3学期が始まり1週間が経過しました。そこで、昨年とこの1週間で見えてきた子どもたちの姿から、今年度の残り3ヶ月、3学期の各学年の抱負をお伝えしたいと思います。人類の感染症の歴史を紐解くと、縄文期や弥生期より様々なウィルスの移動、人類の危機が幾多もあったそうですね。地球上で長く生きてきた各種ウィルスにとっては、私たちの方が新参加者かもしれません。新型コロナウイルスとの出会いから私たちの生活は一変していますが、引き続き、多様な価値を持つ人々と、この社会や地球上の生活をくどう分かち合っていくかを念頭にした保育を創造していきます。どうぞよろしくお祈りします。

5歳：自分の思いや考えを表出し、友だちの思いや意見を聞いたり、受け入れ合ったり、互いの心情や考え方などの特性を感じながら関わるようになってきています。ここで今一度、伝えようとする意欲、聞こうとする意欲、周囲に興味・関心を向け、人への思いやりを持つことに向き合っていけるような姿を丁寧に見守り、サポートしていきたいと思います。園生活自体が本当にあと3ヶ月弱になります。この時期だからこそ表現＜想像するおもしろさ＞、今だから丁寧に保障される＜自由な世界観＞を楽しみ、深めていってほしいですし、多様な表現の記録を残していきたいと思います。

4歳：園の周囲をリサーチ、フィールドワークする中で、見つけたり出会ったりした多様な刺激によって興味関心が継続しています。3歳児と4歳児とがともに生活し始めてから周りの状況を見て、今の自分がどうすべきかを考えたり、時には隣の子の気持ちに寄り添ったりする姿が増えてきたと感じます。＜みる力＞が鋭くなってきている分、自分の中の正解・不正解で判断、線引きして、分断を生む場面も見られてきていますが、絵本の物語のような世界を楽しんだり、目に見えない曖昧さを想像したり、＜想像する力＞を3学期に育み、＜互いの心地よさ＞を探しあう生活が送れるようにしていきたいと思います。

3歳：自分や自分にとって身近なヒト・モノの興味が増え、「なんでもできる、やってみたい」という自信や思いから挑戦する姿が多くなりました。一方で、初めての遊びを紹介すると「失敗しそうだからいや」「難しそうだからいや」「できなそうだからいや」と、やりたがらない傾向も見られます。少し先の予測ができるようになり、臆病になったりプライドが邪魔したりすることもあると思いますが、一人ひとりの“なぜ？どうして？”の気づきや、モノとの触れ合いを保育者や近くにいる子と体験し、「やれるかな、やってみよう」という気持ち、安心感や信頼感を基盤にした自発性・主体的な姿を育てていきたいと思います。

2歳：アスレチックを難なく登って滑り降りたり、泥団子を夢中で作ったり、全身を使った運動や手指を思い通りに動かす力も発達してきました。それらに支えられて、着替えの時の衣服やおむつの着脱や、トイレで排泄をすることや、食事で道具を使って自分で食べることなど、生活習慣も身につけてきて成長を感じます。3学期も、存分に遊べる環境を用意して、信頼できる保育者や、ケンカもするけど隣にいと笑顔になる友だちとともに、生活をつくっていききたいと思います。来週から4月入園の1号さんが時々混ざってきます。安定感が一旦崩れることもありますが、新たな関係性から体験が広がることを期待しています。

1歳：生活の中の様々な場面で「ジブンデ」と自らの思いを強く持ち、行動しようとする姿が目立つようになってきました。“自分でやってみたい”という思いをまずは大切にしながら、さりげなくサポートしたり、できたときには一緒に喜んだりして「ジブンデデキタ」という満足感を味わう経験を増やしていきたいです。とはいえ、まだまだ日によっては不安な時や心細い時もありますので、保育者が抱っこをしたり、手を繋いだりして心身ともに安心できる環境も、引き続き保障していきたいです。